

月刊

みやぎのボランティア・市民活動情報誌

# ゆるる

## 杜の伝言板

2013

7月号

Vol.194

毎月1日発行

災害ボランティア・NPO活動



サポート募金

赤い羽根「災害ボランティア・NPO活動サポート募金」助成事業



このマツが「海辺の森」になる日を信じて…



女性防災士への道 避難所では…

特集  
復興への道

- NPO法人イコールネット仙台
- NPO法人海への森をつくろう会
- NPO法人アイサポート仙台
- 蒲生を守る会
- 公益社団法人認知症の人と家族の会宮城県支部
- 仙台傾聴の会

# 女性防災リーダーの育成に取り組み

●NPO法人イコールネット仙台  
寄稿・理事長 宗片恵美子

私たちの団体は、男女共同参画をテーマに幅広い活動を展開しています。防災・災害復興についても重要なテーマととらえ、震災前から取り組んできました。二〇〇八年には、仙台市内一〇〇人の女性たちを対象に「災害時における女性のニーズ調査」を実施し、それをふまえた提言活動を続けてきました。

震災発生後は、避難所・仮設住宅において、洗濯代行ボランティアやサロン活動等、一貫して女性に対する支援活動を行ってきましたが、女性たちを取り巻く現実にも数多く直面しました。

## ●●● 震災後の女性たち ●●●

そこで、当団体では、この震災で、女性たちが、何を体験し、何を考え、どう行動したのか、記録として残すため、また、被災時及び復興時の女性をめぐる課題解決に向けて、二〇一一年九月～十月、『東日本大震災における「震災と女性」に関する調査』を実施しました。結果、宮城

県内一五〇〇人の女性たちの回答から、「家族」「地域」「仕事」「健康」等に関して女性たちが抱えた困難が様々な浮かび上がりました。そこには、女性たちが、一身にケア役割を担い、結果、仕事を失い、体調を崩す等、まさしく男女共同参画にかかわる課題が明らかになりました。

また、復興計画に女性の視点を反映させるために必要な内容を問う設問では、「女性の地域防災リーダーや災害復興アドバイザーを育成し、地域に住む人々の支援体制を有効性のあるものにする」の選択肢が高い数値を示していました。防災・復興に関する意思決定の場に参画し、女性たちの声を届けるしくみが必要だということなのです。

今年三月に見直しが行われた仙台市防災計画には、「男女共同参画の視点を取り入れた災害対策」が柱の一つに据えられ、男女が意思決定の場面から参画する機会を確保すると明記されました。この動きは、今後、女性が防災分野で活躍する上で、大きなよりどころとなります。

## ●●● 女性防災リーダー ●●●

当団体では、今年五月から「女性のための防災リーダー養成講座」をスタートさせました。仙台市内各地でPTA、町内会、社会学級などで活動する女性たちに声がけし、「女性防災リーダー養成プロジェクトチーム」を立ち上げ、共催で女性の視点を重視した講座を進めています。チームのメンバーと一緒にプログラム作りから検討を重ね、「振り返り編」と「実践編」の構成を考えました。

振り返り編五回(五月～七月)の連続講座には「仙台市地域防災計画を知ろう!」「地震と津波のメカニズムを知ろう!」「震災で何が起きているのか DVと児童虐待」「障害の特性と対応を知ろう!」「災害時、こん



▲昨年8月、仙台市出花体育館で行われた「避難所ワークショップ」の様子

な時の対応は?」ワークショップなどを盛り込みました。まさに震災の経験をふまえた内容。実践編は、受講生が団体と一緒に、自分の住む地域で地域性にあつた防災の取り組みを展開していくこととなります。

早くも、「避難所ワークショップ」などの実施に向けて動き出す地域も出てきています。毎回行われる受講生三十人と講師を交えた熱心な話し合いは、女性たちのパワーを感じさせる、期待の持てる時間となっています。受講生からは「地域内の意見交換の場を作りたい」「地域住民が協働して防災力を高める意識づくりを進めたい」など積極的に地域防災に取り組みとういう前向きな声が寄せられています。

この講座は、今後も継続していき、女性防災リーダーの人材を蓄積し、研修会や情報交換会を通してネットワーク作りにも力を入れていく予定です。

地域の防災力を高めるためには、女性たちの力は不可欠です。女性が男性とともに地域防災の担い手として、確実に力を発揮できるようにこれからも必要な支援を続けていきます。

### NPO法人イコールネット仙台

〒980-0011 仙台市青葉区上杉6-2-25  
●TEL/FAX : 022-234-3066

# 住民の生命を守る「森づくり」

● NPO法人海への森をつくろう会

岩手県久慈市から宮城県気仙沼市に至る陸中海岸国立公園が、今年五月、青森県の一部を加え三陸復興国立公園となりました。その三陸復興国立公園の南端に位置する気仙沼市岩井崎は「潮吹き岩」という名所やお伊勢浜海水浴場などがある景観豊かな土地です。

しかし、二〇一一年の大津波はこの地にも大きな傷跡を残しました。この地を復興させるため、周辺の海岸に防潮林「海辺の森」を作ろうとしているのが、今年三月に法人化したNPO法人海への森をつくろう会（以下、つくろう会）です。

## ●●● 「陸の松島」を作ろう ●●●

つくろう会発足の背景には震災以来住民から上がっていた「とにかく流された土地に木を植えてくれ」という声がありました。そして二〇一一年十一月、被災地沿岸部に「森の防潮堤」を造成することを提唱している仙台市の輪王寺住職日置道隆さんと生態学者の宮脇昭さんが、

岩井崎にある寺院、地福寺を訪れたことが住民たちの背中を押すきっかけとなったのです。

「海辺の森」の発想のもととなったのは松島の島々でした。島々が津波の力を減衰させたため、その奥に位置する地域は比較的津波の被害が少なかったと言われていました。木を植え、森を作っていくことで、「陸の松島」が作れるのではないかということでした。

こうして昨年一月、現代表の菅原信治さん、地福寺住職片山秀光さんから地域の住民は団体を立ち上げ、宮脇さんたちに助言をもらいながら植樹活動を始めることになりました。

## ●●● 初めての植樹祭 ●●●

つくろう会の植樹の目的は防潮機能を持つ森を作ることにあります。木であれば何でもよいというわけではなく、津波や塩害に強い種を植える必要があります。とはいえ、メンバーはみな植樹に関して素人同然。まずは宮脇さ



▲今年6月、育苗施設で接ぎ木の説明をする菅原代表

んを始めとする植物の専門家からのアドバイスを仰ぎ、育苗から植樹に至るまでの勉強会を実施するとともに、地元で植生調査を行い植樹する種を厳選しました。

そして昨年十月に初めての植樹祭を迎えます。植樹用地は地福寺そばの個人の土地を借りました。もともと住宅があった場所ですが、津波で家は流失し、その家に住んでいた三人が亡くなりました。

植樹祭には六〇〇人の参加者が駆けつけ、三〇〇〇本の木を植えました。苗はタブ、ヤマザクラなど地域の山に自生する樹木の幼木から採取したものやイオン株式会社からの協力を得たものです。

## ●●● ロマンがあるから続けられる ●●●

今年の秋には二回目の植樹祭も開催予定。現在は植樹祭に備えて挿し木による苗を殖やしたり、昨年に播いた種から育った幼苗を管理する日々が続いています。

つくろう会の活動では木を植えること自体は最後の仕上げに過ぎません。幼苗を育てるために、毎日のように温度管理、水撒きをし、山へ入っては種や挿し木用の枝を採取します。また、植樹用地の交渉も必要ですし、土地を整備するために重機も入れなければなりません。

そんな苦労があってもつくろう会の活動を続ける理由を菅原さんはこう話します。「実際に木を植えてみて、その生命力のすごさを知りました。昨年植えた三〇〇〇本の木々の体積は一年経てば当時の数倍になります。仮に毎年三〇〇〇本ずつ植えたとしても、それが十年になればその大きさは相当なものになります。そして私たちが寿命を迎えても森は残る。その森が将来この地に住んでいる人の生命を守る、これはロマンです」

### NPO法人海への森をつくろう会

〒988-0223 気仙沼市長磯鳥子沢58-8  
 ●TEL : 090-6781-3634  
 ●E-mail : anemone@energy.ocn.ne.jp  
 ●URL : http://morino.siokaze.net

いつもの活動が  
支援につながる

● NPO法人アイサポート仙台

NPO法人アイサポート仙台（以下、アイサポート）は、二〇〇五年三月に前身の団体を設立。その翌年に法人化し、宮城県内の視覚障がい者支援を続けています。

現在は若林区荒町で二つの拠点機能を運営。仙台市より委託を受け、個別相談や関係機関との連携を図る『仙台市中途視覚障害支援センター』（以下、支援センター）と、同じく仙台市から運営管理を受託している



▲「きりん」のイベントで泉中央近辺を散歩する利用者の皆さん

『障害者地域活動推進センター「きりん」』（以下、「きりん」）です。

今年六月、仙台市泉区の七北田公園でウォーキングを楽しむグループの姿がありました。これはアイサポートが企画する、視覚障がい者のためのイベント。気仙沼から避難している女性参加者はこう言います。

「仙台へ避難してきた当初はすることもなく辛かった。でも今はアイサポートのおかげで楽しく過ごせています」

●●● 手の届くところの支援から

東日本大震災の発生後、わずか二日でアイサポートは利用者の安否確認を始めました。

利用者には高齢者や单身者も多く、部屋が片づけられない、ヘルパーが来られず食糧がない、と様々な困難を抱えています。

自身も視覚障がいを持ちながら、社会福祉士・相談員として活動するスタッフの阿部直子さんは、「一般の人でも躊躇する状況では、目が不

自由だとおさら恐いです」と話します。少しでも利用者を安心させるため、スタッフが直接出向き、一緒に部屋を片付けたり、食事を持って行ったりもしました。

翌週には、通常相談だけではなく、津波の被害を受けた沿岸部からの相談対応も受け付ける事をテレビやラジオを通して告知。すると、津波で眼鏡や杖などの補助具が流されたとの声も聞かれるようになりました。

被災地に届く支援物資に、視覚障がい者の補助具は少なかったのです。アイサポートには、メーカーから寄せられた視覚障がい者用サングラス「遮光眼鏡」があり、それを県内外の被災者のもとへ届けることができました。

四月になると、いったん休止していた「きりん」のサロン活動も少しずつ再開しました。翌五月には、荒町商店街に出展する七夕飾りを作る『手作りの日』も再開。

アイサポートの活動は徐々に落ち着きました。

●●● 周りの力を味方にして

現在、アイサポートのスタッフはたった三人。団体の活動は登録人数約四十人の一般ボランティアに支えられています。一人で「きりん」を切り盛りするスタッフの大久保陽介さんも「ボランティアさんに助けられ

ている部分が大きい」と言います。

震災からおよそ一〇〇日が経過した二〇一一年六月頃、震災を振り返る試みがありました。そこでは震災後の気づきや伝えたいことをテーマとして、視覚障がい者やその家族ら参加者で話し合いました。

振り返ると、課題も見つかりました。震災直後、介助にボランティアを求めても、視覚障がい者への接し方が分からないと断られることがあったのです。

アイサポートでは、震災前から一般市民を対象としたボランティア養成講座を開催し続けてきましたが、この新たな気づきはアイサポートに刺激を与えました。

「普段の活動が大切だと、改めて感じました。私たちが当然と思っ

ていることも、一般の人からすれば当然ではありません。視覚障がいについて、またその支援について、もっとよく知ってもらい、支援者を増やしていきたいです」と阿部さんは活動への想いを新たにしています。

NPO法人アイサポート仙台

〒984-0073 仙台市若林区荒町215  
荒町中央ビル1階  
●TEL：022-212-1131  
●FAX：022-212-1136  
●E-mail：sisien@sky.plala.or.jp  
●URL：http://www15.plala.or.jp/isupport/

# 生命の宝庫を取り戻す

● 蒲生を守る会

仙台市内にある蒲生干潟をご存じですか？ 蒲生干潟は宮城野区の七北田川河口にできた干潟です。

一九七〇年に発足した「蒲生を守る会」(以下、守る会)はその干潟を守る活動をしています。

干潟は、渡り鳥たちの重要な中継地、越冬地で、さまざまな生物たちが住む「生命の宝庫」。しかし一九七〇年当時、仙台港の建設に合わせて、干潟を埋め立てるという計画があり、干潟保全のために干潟調査や行政への働きかけを始めました。

その活動の結果、一九七三年には、残った干潟と周辺地域が特別鳥獣保護区、及び自然環境保全地域に指定され、埋め立てから干潟を守ることが出来ました。それ以来、現在まで蒲生干潟で生き物調査や自然観察会を実施し、団体内だけでなく、市民にも環境を考える場を設けてきました。

●●●津波を乗り越えた生物たちがいる!●●●

二〇一一年に発生した東日本大



▲震災前に行なわれていた観察会の様子

震災の大津波により、蒲生干潟は無残な状態に。実際に干潟を確認する前に、ネットからの衛星写真や、新間から干潟の被害状況について確認し、三月二十七日に初めて守る会の熊谷佳二さんは干潟に足を運びました。周辺にあつたアシ原や松林は流され、干潟の風景は以前とすっかり変わってしまいました。

季節ごとに行っていた自然観察会は、交通手段を遮断され、危険な状

態が続いたため、休止することに決めました。

震災後の四月から、守る会のメンバーは蒲生海岸の調査を開始。津波の被害を受け、変わり果てた干潟に言葉の失いながらも、注意深く干潟を観察すると、ハマシギやメダイチドリなどの鳥類やコマツキガニなどを見つけることができました。月日を追って確認される生物種は増え、干潟復活の兆候を感じ取ることができたのです。

「自分の目で干潟を見るまで、諦めない」と決めていました。五月の調査で巣穴から流れ出る水流を発見し、生命の息吹きを感じたときの嬉しさは忘れられません」と熊谷さんは言います。

その後も、鳥類の飛来状況や地形変化の調査を続行。いったんは消失した北側の砂浜も、二か月後には砂の堆積によって地形が復活し、現在では、地形や生物相は震災前に近い状態に戻りつつあります。

## ●●●SAVE JAPANプロジェクトの取り組み●●●

SAVE JAPANプロジェクトとは、四十七都道府県でNPOと地域住民、株式会社損害保険ジャパン、日本興亜損害保険株式会社がともに「いきものが住みやすい環境づくり」を行うプロジェクトです。このプロ

ジェクトの目的は、地域住民の方へ環境保全活動に参加する機会を提供し、地域の自然環境に興味関心を持ってもらうことにあります。

損保ジャパン、日本興亜損害の自動車保険の利用客が、紙ではなく、インターネット上で確認できる約款などを選択した場合、その実績に応じて環境NPOなどへ寄付を行います。その寄付金でSAVE JAPANプロジェクトは運営されています。

今年宮城県で実施されるプロジェクトは守る会が震災後から現在に至るまでの干潟の様子を伝え、その記憶を次世代へつなぐものです。

八月と九月に全二回のプログラムを実施する予定で、一回目の八月四日は、蒲生干潟での生き物観察会を予定。震災後初めて守る会が開催する観察会です。

干潟生態系は少しずつ、再生への道のりを歩んでいます。希少生物たちが住む干潟を守るため活動している、守る会の取り組みを知り、環境を守ることの大切さに気付く機会に、ぜひご参加ください。

### 蒲生を守る会

〒980-0874 仙台市青葉区角五郎2-4-6  
木村フジ方  
※観察会に関する問合せは、杜の伝言板  
ゆるるまで(連絡先は、裏表紙を参照)

# 一人で抱え込まないで

●公益社団法人認知症の人と家族の会宮城県支部

「認知症患者の介護をしている家族は誰もが一度は突発的な殺意や自殺願望を感じることがあります」と衝撃的な話をするのは公益社団法人認知症の人と家族の会宮城県支部代表の関東澄子さん。

「でもそんな思いを受け止め、共有してくれる場、『家族の会』があることを知って欲しい」

## ●●● 苦しみをわかちあえる場 ●●●

公益社団法人認知症の人と家族の会宮城県支部(以下、「家族の会」)は相談や交流会の開催などによって宮城県内の認知症患者とその家族の支援を行っている団体です。

「家族の会」の本部は京都市にあり、宮城県支部は今年で結成十九年目(本部は結成三十四年目)を迎えています。当事者どうしの励まし合い、助け合いの活動を大切に、「つどい」、電話相談、会報発行を二本柱に活動を進めます。

「つどい」は当事者どうしの交流の場であり、毎月第三土曜日に仙台市

で定期的に開いており、その他、男性介護者どうしの「つどい」や若年性認知症の方を対象とした「つどい」も定期的に開催しています。

電話相談は、宮城県や仙台市から受託して毎週月・金曜日に認知症介護体験者に対応。さらに、会報は本部会報とともに、支部会報も毎月定期的に発行し、「つどい」の模様や各種情報を発信しています。

このほか、講演会や各種行事で認知症に関する啓発を進め、各地で開かれる相談会にも積極的に参加し、介護者と悩み、困りごとを話し合っています。

## ●●● 震災で得た教訓 ●●●

東日本大震災発生直後、「家族の会」では緊急時だからこそ普段の活動を継続しました。震災直後の三月に会場が使えなかったため中止した一回を除き、「つどい」を定期的に開き続け、電話相談も行いました。電話相談も八月までは二十四時間対応で実施しました。



▲定例の「つどい」では世話人数名が進行役となり、参加者の話を引き出します

一方、通信手段や移動手段が限られるなかでの会員の安否確認は困難を極めました。京都本部の協力を取りつけ、リストアップした会員へ電話をかけ、各地の世話人(家族の会の運営にも携わる会員)を介して人づてに探し、それでも結局約二八〇名の会員の安否が判明したのはその年の八月末でした。

震災直後から在宅の患者やその家族は避難所にも入れず、苦労を強いられました。たとえば、水、食料、日用品を求めて給水車やスーパーの行列に並ぶ際、家族は精神的に不安定な患者を伴わなければなりませんでした。

このような非常時に「家族の会」として会員の方々と「親密な関係を築いていけば、もつとできることがあったかもしれない」と、世話人の集まりではそんな声も出しました。

この教訓から、「家族の会」は、県内各地に住む世話人にその地域を担

当してもらい、日常から会員の近況をこまめに把握できるようにしたのです。

このような体制を普段から作ることで、震災のような緊急時にも役立てることができるわけです。

## ●●● 地域の力も借りながら ●●●

もう一つ、震災によって変わったのは世間への意識です。震災時、「家族の会」を通じた当事者どうしの支え合いだけでは限界がありました。結局近隣に住む「近所さん」に助けを求めらう事例も多くなりました。

それまで、認知症のことを世間になかなかもらいたいという思いはありつつも、その一方では偏見を恐れ、病気のことを話してはいただけませんでした。

今後ますます高齢化が進むと予想されるなか、高齢者が高齢者を介護する老老介護のケースも増えていきます。そのような場合に手を差し伸べてくれる「近所さん」を増やすため、家族の会では積極的に認知症の啓発に努めるつもりです。

### 公益社団法人認知症の人と家族の会宮城県支部

〒980-0014 仙台市青葉区本町3-7-4  
宮城県社会福祉会館2階  
●TEL/FAX : 022-263-5091  
●E-mail : kantou@mwa.biglobe.ne.jp  
●URL : http://www.miyagisibu-alz.org/

# 人の心を感じることが できる社会に

● 仙台傾聴の会

仙台傾聴の会は、地域住民の悩みや不安に耳を傾け、皆が心の安らぎを得て安心した生活を送れるようにと、二〇〇八年四月に仙台市で結成されました。その活動内容は傾聴ボランティアの派遣、傾聴サロンの開催、傾聴ボランティア養成講座の開催、各種講座への講師派遣、傾聴に関する広報活動など。

二〇一一年初めには傾聴ボランティアとして活動する会員も一〇〇人を越え、仙台市、名取市、岩沼市の高齢者福祉施設で傾聴活動を実施してきました。

## ただそばにいます

東日本大震災後、代表の森山英子さんは避難所の様子を知り、震災から十日後の三月二十二日から傾聴活動を開始しました。名取市を中心に会員がそれぞれ徒歩や自転車を通える地域を担当し、津波被害の大きかった名取市文化会館、名取第一・第二中学校、増田西小学校、館腰小学校、そのほか仙台市、岩沼市合わ

せて十か所の避難所で傾聴活動を実施。震災後三か月間でのべ四五〇人に傾聴を行いました。

避難所での傾聴は、経験豊富な傾聴ボランティアであっても、不安と緊張が伴いました。初めは、被災者にかける言葉も見つからず、ただ、傾聴ボランティアと書かれたベストを着て、隣に座っているだけ（ただしこれも一つの傾聴です）だったといいます。その後四月には、被災者対応に特化した研修も実施しました。



▲会の活動の説明をする代表の森山英子さん

回を重ねるうちに、地震や津波の辛い経験、家族や知人を亡くした悲しみ、避難所での悩みなど、様々な話をしてもらえようになり、傾聴ボランティアを心待ちにしてくれるようになりました。

## 継続から生まれた信頼関係

六月になって被災者が避難所から仮設住宅に移動するのに伴い、活動の場も仮設住宅に移っていきまし。名取市では一軒一軒に案内チラシを配ってお茶会を開催。お茶会は仮設集会所を会場に半年間で七十回開き、のべ一二〇名の声を聴きました。仙台市では、従来の「傾聴サロン」に加え、週三回、携帯電話を使った電話相談も始めました。

昨年一月からは、毎月仙台市と名取市で各二十回、みなし仮設などに住む方を対象に傾聴茶話会も開催してきました。これは名取市内で活動する市民活動団体「国際交流協会ともだちごなとり」との協働で実現したものです。相手の話をありのままに受け止め、被災者に寄り添う活動を続けるなかで信頼関係も生まれ、自宅にも来てほしいという人も出てきました。

## 認めて受け入れる傾聴社会を

代表の森山さんは、「今後は、『聞

き書き』など傾聴のバリエーションの幅を広げると同時に、カウンセリングなどの資格を持つ会員を活かし、鬱対策や自殺予防などもしていきたい」と話しています。また、本格的な電話相談を行うために、固定回線を引ける事務所の獲得も当面の課題です。

これまでの仙台傾聴の会の活動は、会費と各会員の持ち出しを主な財源とする、いわばボランティア活動の延長でした。しかし、被災者や高齢者の方だけでなく、一人暮らしの方や認知症の方など様々な事情を抱えた人を対象とし、もっと地域に根差した活動へと発展させていくためには、より組織的に事業として取り組む必要があります。

まずはその第一歩として、今年の七月にNPO法人の申請を予定しています。

法人となった暁には、傾聴の普及や人材育成を通じて、「相手の心を感じることができ、人を増やし、支えあえる社会を作っていくことを目指しています。」

### 仙台傾聴の会

- 〒981-1101 仙台市太白区四郎丸神明45
- TEL/FAX : 022-343-9705
- URL : <http://blog.canpan.info/morimori/>

# 「初級者向け・IT なんでも相談」がスタートします!

～NPOのための専門相談を活用して悩みを解決しましょう～

## みやぎNPOプラザ

このページは、みやぎNPOプラザからのお知らせです。

みやぎNPOプラザ（以下、プラザ）では、宮城県内のNPO・市民活動団体の活動を支援する専門相談を開催しています。

その専門相談に今年度より新しく「初級者向け・ITなんでも相談」（以下、「ITなんでも相談」）が加わります。

NPOの活動が多く市民から信頼され、共感を得るためには、日頃の活動や成果を積極的に情報発信することが欠かせません。その際、ITは手軽な情報発信ツールとして力を発揮します。しかし、ITに対して敷居を高く感じ、なかなか上手く情報発信ができていないNPOが多いのも事実。

「ITなんでも相談」ではそのようなNPOのため、ホームページやブログの作り方、FacebookなどのSNS（ソーシャルネットワークワーキングサービス）の活用方法、セキュリティ対策などの相談に応じます。

相談を担当するのは、フリーランスでサーバーの構築やシステム開発を行っている石澤圭太さんです。プラザでのシステム管理、ITトラブルシューティングも担当しています。

第一回目の「ITなんでも相談」は八月二十二日（木）です。すでに問合せも来ていますので、興味のある方はお早めにお申し込み下さい。

## それぞれの悩みに応じた専門相談を

プラザでは他にも「会計・税務相談」、「雇用相談」、「経営相談」、「法人設立・団体運営相談」も行っています。各相談はすべて無料。普段、財政的な理由から専門家に依頼するのが難しいNPOにとっては貴重な機会です。

「会計・税務相談」は毎月、税理士の先生をお招きし、会計業務に関する疑問やトラブル、日々の会計業務から決算書作成や税金のことなどをお答えします。

「雇用相談」は雇用手続き全般から、就業規則の作成や見直し、職場環境・人間関係の問題まで、雇用に関することを社会保険労務士の先生などへ相談出来ます。

「経営相談」は中小企業診断士などの先生が事業収益を上げる方法や被災地でつくった手仕事品の販路拡大、売れる商品づくりの方法などの相談を受け付けています。

「法人設立・団体運営相談」は毎週水曜日にプラザ館長の大久保朝江が担当しています。NPO法人の設立や申請書類の書き方、法人格の有無にかかわらず、組織運営や資金の確保、会計など、NPOが活動の中でぶつかる様々な問題について、乗り越えるためのアドバイスをします。

## お申し込みについて

定員は各相談とも三団体（先着順）、相談時間は一団体約一時間です。申込には開催日の六日前までに事前の予約が必要です。所定の申込用紙（「みやぎNPO情報ネット」からダウンロード可能）をFAXまたはメールでプラザまで送付して下さい。

NPOに関する相談をどこへ相談すればいいのか分からないという方は、まずはプラザへご連絡下さい。スタッフが相談内容の詳細を聞いた上で、講師に伝え、円滑な相談が出来るようにサポートします。

この機会にぜひ、活用して下さい。



▲専門相談のためのコーナーを用意しています

## プラザの無料NPO相談

法人設立・運営相談 毎週水曜日

会計・税務相談 7/25(木)

初心者向け・ITなんでも相談 8/22(木)

各相談要予約 申込  
定員3団体(先着)

各相談  
13:00～17:00  
(1団体あたり約1時間)

## みやぎNPOプラザ

〒983-0851 仙台市宮城野区榴ヶ岡5  
(指定管理者:特定非営利活動法人杜の伝言板ゆるる)

☎ 022-256-0505

☎ 022-256-0533

✉ npo@miyagi-npo.gr.jp

●みやぎのNPO・市民活動を支援するWebサイトです。

## みやぎNPO情報ネット

<http://www.miyagi-npo.gr.jp/>



# 助成金情報

※詳細については、それぞれのホームページ等の要項をご確認ください。

## 2013年 Panasonic NPOサポート ファンド (子ども分野・環境分野)

### 【共通事項】

- 助成対象：第三者の多様で客観的な視点を取り入れた組織基盤強化の一連の取り組みで、(1)(2)の連続した取り組み、または(2)のみの取り組み  
(1) 課題抽出・解決策立案の取り組み  
(2) 組織基盤強化の取り組み  
※詳細はHPの要項をご覧ください

### 【子ども分野】

- 対象団体：子どもたちの健やかな育ちを応援する新しい社会づくりを目指し、先駆的な活動と組織の自己変革に挑戦する、所定の条件を満たすNPO/NGO(法人格の有無は不問)
- 助成金額：1件あたり上限200万円  
(総額750万円、件数5～6件程度)
- 助成期間：2014年1月1日～2014年12月31日までの1年間  
※最長で3年まで継続して助成
- 募集期間：7月16日(火)～7月31日(水) 必着
- 連絡先：NPO法人市民社会創造ファンド  
Panasonic NPOサポートファンド  
(子ども分野)協働事務局  
〒103-0012 東京都中央区日本橋堀留町1-4-3  
日本橋MIビル1階  
TEL：03-5623-5055(月～金10:00～17:00)  
FAX：03-5623-5057  
E-mail：ksakamoto@civillfund.org

### 【環境分野】

- 対象団体：環境問題に取り組み、強い市民社会の創造を目指す、所定の条件を満たすNPO/NGO
- 助成金額：1件あたり上限200万円  
(総額750万円、件数5～6件程度)
- 助成期間：2014年1月1日～2014年12月31日までの1年間  
※最長で3年まで継続して助成
- 募集期間：7月16日(火)～7月31日(水) 必着
- 連絡先：NPO法人地球と未来の環境基金  
Panasonic NPOサポート ファンド(環境分野)  
協働事務局  
〒101-0041 東京都千代田区神田須田町2-2-5  
CTNビル3階  
TEL：03-5298-6644(月～金10:00～17:00)  
FAX：03-3255-2202  
E-mail：eff-spf@eco-future.net

## 平成25年度社会福祉助成・自動車購入費助成

- 対象団体：東日本地区に所在するNPO法人、社会福祉法人で、主として障害者の福祉活動を行う団体  
※ただし、加齢に伴う障害者(高齢者)は除く
- 助成金額：自動車購入費1件100万円まで(総額1,000万円)
- 募集締切：7月31日(水)
- 連絡先：公益財団法人損保ジャパン記念財団  
〒160-8338 東京都新宿区西新宿1-26-1  
TEL：03-3349-9570 FAX：03-5322-5257

## 子どもと親子のスポーツ活動、地域の子どものスポーツ活動への助成

- 助成対象：1)子どもと親子のスポーツ活動  
子どもや親子のスポーツ活動及び家族を対象とした運動・スポーツによる教室、大会等  
2)地域の子どものスポーツ活動  
地域活動に根ざした子どもの運動・スポーツによる教室、大会等
- 対象団体：市町村において子どもスポーツ活動や子ども文化活動を推進するための組織団体で、営利を目的としない、所定の要件を満たす団体、クラブ及びNPO法人  
※原則としていずれも市町村及びその教育委員会より推薦を受けられること
- 助成金額：1団体の上限50万円(総額1,500万円)
- 募集締切：7月31日(水)
- 連絡先：公益財団法人ライフスポーツ財団 助成金交付事業  
〒662-0097 兵庫県西宮市柏堂町3-7  
フォーラム夙川台  
TEL：0798-75-0105 FAX：0798-75-0107

## 国際交流事業等助成金 (平成25年度第3回)

- 助成対象：営利等を目的としない次に掲げる事業  
1)県内で開催する、外国人と地域住民との友好交流事業や、地域住民の国際理解を深めるための普及啓発事業等  
2)外国において、本県の優れた文化等を紹介し、外国人と交流を図る事業  
3)開発途上国等の地域住民に対して行う各種の協力・支援事業  
4)その他、地域の国際交流・協力の推進に寄与すると認められる事業
- 対象団体：1)団体の運営に必要な事項について定めがあり、原則1年以上の活動実績がある団体  
2)県外に主たる事務所を有し、県内ではその支部組織等が活動している国際交流団体等で、支部組織等の運営に必要な事項について定めがあり、かつ1年以上の活動実績があるもの
- 助成金額：1件あたり上限25万円  
※助成対象経費額により異なります
- 助成期間：10月1日～12月31日に開始する事業
- 募集締切：8月10日(土)
- 連絡先：公益財団法人宮城県国際化協会 企画事業課  
〒981-0914 仙台市青葉区堤通雨宮町4-17  
宮城県仙台合同庁舎7階  
TEL：022-275-3796 FAX：022-272-5063  
E-mail：mail@mia-miyagi.jp

- 主 催：社会福祉法人東北福祉会、NPO法人わらいの館四季
- 連 絡 先：社会福祉法人東北福祉会 法人本部  
〒989-3201 仙台市青葉区国見ヶ丘6-149-1  
TEL：022-303-0086 FAX：022-208-7600  
E-mail：t-honbu@sendan.or.jp

## 7/29 平成25年度ボランティア活動支援業務担当者(ボランティアコーディネーター)研修

市町村社会福祉協議会や福祉施設、企業やNPO等でボランティア担当業務を行っている方を対象に、ボランティアコーディネーターの基礎や役割を講義、演習を通して学びます。ボランティアコーディネーターの重要性を、研修を通して考えましょう。

- 日 時：7月29日(月)、30日(火) 10:00～16:00
- 場 所：JAビル宮城 11階南側会議室  
(仙台市青葉区上杉1-2-16)
- 内 容：29日ボランティアコーディネーターの基礎(講義)  
中間組織におけるボランティアコーディネーション(演習A)  
ボランティアが主体的に力を発揮できるよう、情報整理や相談技術、市民と組織をつなぐ調整方法を学びます。  
30日ボランティアコーディネーターの基礎(講義)  
施設におけるボランティアコーディネーション(演習B)  
ボランティアを受け入れる側としての知識や相談技術、組織内外の調整を中心に学びます。
- 定 員：40名
- 講 師：岡村こずえ氏(社会福祉法人大阪ボランティア協会 事務局主幹)
- 参 加 費：無料
- 対 象：社会福祉協議会、市民活動支援センター、施設・NPO・公民館などでボランティア活動支援を担当している方。その他、ボランティア活動支援に関心のある方。
- 申込締切：7月18日(木)
- 申込方法：以下より、受講申込書をダウンロードし記入の上、みやぎボランティア総合センター宛でFAX。  
[http://www.miyagi-sfk.net/community/node\\_4169](http://www.miyagi-sfk.net/community/node_4169)  
受講の可否については、折り返し連絡のない場合、受付完了。
- 主 催：宮城県社会福祉協議会 みやぎボランティア総合センター
- 連 絡 先：担当(大場・藤原)  
TEL：022-266-3951 FAX：022-266-3953

## 8/3 第2回 心のケアを考えるフォーラムin仙台 震災から3年目～支援者も共に心のケアを～

- 日 時：8月3日(土) 10:00～16:00

- 場 所：仙台市福祉プラザ2Fふれあいホール
- 内 容：【午前の部】  
★基調講演「ボランティア自身のセルフケアとしての『マインドフルネス』」  
講師：フォーク・阿部まり子氏(ミシガン大学ヘルスシステム・臨床ソーシャルワーカー)  
【午後の部】  
★活動紹介 仙台傾聴の会代表 森山英子氏  
★パネルフォーラム  
「アメリカのピアボランティアに学ぶ自立支援に繋がる『傾聴』」  
「孤立する人々の心に寄りそうには」  
※来場者には冊子「傾聴ボランティアの視点」を差し上げます
- 参 加 費：1,000円(資料代)
- 申込方法：事前に下記口座に入場料(資料代)と明記の上1,000円を振込  
振込先：ゆうちょ銀行  
口座記号番号 02220-8-134520 仙台傾聴の会  
※定員に達した場合は連絡いたします  
※なお、当日不参加の場合返金はいたしません
- 主 催：仙台傾聴の会
- 連 絡 先：仙台傾聴の会  
〒981-1101 仙台市太白区四郎丸神明45  
TEL/FAX：022-343-9705  
携帯：090-6253-5640  
E-mail：moriyama-e@tulip.sannet.ne.jp

## 8/11 イタリア料理作れるいい男コミュ —イタリアお料理教室—

私たちは、2002年からイタリア料理や文化・イタリア語を男女世代関係なく楽しむ活動をしています。イタリア料理(アンティパストプレート、ポロネーゼのショートパスタ、ティラミス)の調理と、食事をしながらの交流を楽しんでみませんか。

- 日 時：8月11日(日) 11:30～13:30
- 場 所：エルパーク仙台
- 定 員：20名(先着順、男女問わず)
- 参 加 費：2000円(当日集金)
- 持 ち 物：エプロン、三角巾、ふきん、筆記用具、飲み物(ワイン、ジュース等皆で飲みたいもの)
- 申込方法：氏名、性別、年齢、当日連絡のつく電話番号を本文に明記し、下記連絡先までメール
- 申込締切：7月31日(水)
- 主 催：アミチツィア会
- 連 絡 先：E-mail：amicizia.fes@gmail.com  
URL：http://blog.goo.ne.jp/ciococioco/

## 情報をお待ちしています

- 申込方法：問合せ先を明記の上(初めてご利用いただく団体は団体概要も添付)、FAX、e-mail、郵送にてお寄せ下さい。 **掲載は無料です!**
- 締切：毎月15日(翌月10日以降開催・締切となる情報を掲載します)
- 誌面の都合で掲載できない場合があります。○お問合せは事務局まで。  
※申込みいただいた情報は「みやぎNPO情報ネット」にも提供いたします。

NPO法人杜の伝言板ゆるる  
〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡3-11-6 コーポラス島田B6  
TEL:022-791-9323 FAX:022-791-9327  
e-mail:npo@yururu.com

みやぎのNPO・市民活動を支援するWebサイト  
「みやぎNPO情報ネット」

<http://www.miyagi-npo.gr.jp>



NPO法人杜の伝言板ゆるるが宮城県と協働で運用する、みやぎのNPO・市民活動を支援するWebサイトです。ボランティアやスタッフの募集、講座・イベントのお知らせ、助成金・行政情報など、市民活動・NPOに役立つ情報が満載です。問い合わせは、[info@miyagi-npo.gr.jp](mailto:info@miyagi-npo.gr.jp) まで

**7/19 劇団たんぽぽ「100万回生きたねこ」  
仙台たいはく子ども劇場・仙台若林子  
ども劇場 低高合同例会**

多くの人に読みつかれている佐野洋子原作の絵本「100万回生きたねこ」。100万回も生きて100万回も死んだふしぎなねこのものがたり。

- 日 時：7月19日(金) 19:00～
- 場 所：仙台市福祉プラザ2Fふれあいホール
- 対 象：会員制(4歳より)
- 主 催：仙台たいはく子ども劇場
- 連 絡 先：TEL/FAX：022-227-3188(木・金11:00～15:00)

●他会場のスケジュール

- 7月20日(土)18:30～ 岩沼市立岩沼南小学校
- 7月21日(日)14:00～ 塩竈市若館遊ホール

**7/20 3.11定点観測写真アーカイブ・プロジェクト公開サロン  
みつづける、あの日からの風景**

【第10回】

「もう一度見てみよう3.11ツアー」に参加した仙留学生と在仙の大学生たちによる一般公開サロン。ツアーに参加して気付いたことや、3.11定点観測写真の活用の仕方や、東日本大震災を次世代に残すために、どのようにこの大震災をアーカイブし、発信していくのかを参加者と一緒に考えます。

- 日 時：7月20日(土) 15:00～17:00
- 場 所：せんだいメディアテーク 7F スタジオa

【第11回】

震災の記録写真を撮影した市民の方方をゲストに迎えます。震災後間もなく撮影された写真と、その後、震災から日が経つ中で撮影された写真を、撮影者ご本人に紹介して頂きます。

- 日 時：8月3日(土) 15:00～17:00
- 場 所：せんだいメディアテーク 1F オープンスクエア

【共通事項】

- 参加費：無料
- 申込方法：申込不要、直接会場へ
- 主 催：NPO法人20世紀アーカイブ仙台、せんだいメディアテーク
- 連 絡 先：NPO法人20世紀アーカイブ仙台  
TEL：022-387-0656 FAX：022-387-0651  
E-mail：npo@20thcas.or.jp  
URL：http://www.20thcas.or.jp

**7/27 夏休みユニセフ教室「親子で参加する  
外国コイン仕分け活動」**

仙台空港の「ユニセフ・外国コイン募金箱」に集まった、外国コインや紙幣を仕分けします。ボランティア活動として、あるいは夏休みの自由研究として、参加してみませんか？

- 日 時：7月27日(土) 10:00～14:00
- 場 所：みやぎ生協文化会館ウイズ 2F会議室
- 内 容：★ユニセフについての学習  
★コイン仕分け活動
- 対 象：小学生親子、中学生、高校生、大学生、一般の方
- 定 員：50名
- 参加費：300円(昼食代：ナンとカレー)
- 申込方法：電話・FAX・メールで宮城県ユニセフ協会へ

- 申込締切：7月12日(金) ※応募多数の場合は抽選。結果は18日(木)までにお知らせします。

- 主 催：宮城県ユニセフ協会
- 連 絡 先：〒981-3194 仙台市泉区八乙女4-2-2  
みやぎ生協ウイズ内  
TEL：022-218-5358 FAX：022-218-5945  
E-mail：sn.municef\_miyagi@todock.jp  
URL：http://www.unicef-miyagi.gr.jp

**7/27 簡単ホームページ作成講座**

最新のサービスを利用すれば、簡単にしかも費用をあまりかかずに、個人や団体のホームページをつくることができます。

- 日 時：7月27日(土) 10:30～16:30
- 場 所：みやぎNPOプラザ 研修室
- 対 象：パソコンの基本操作ができる方で個人・団体の関係者を問わず
- 定 員：5名(先着順)
- 参加費：3,500円(テキスト代込)  
実習で使用するパソコンは用意します(持ち込みも可)
- 申込方法：下記連絡先より申込用紙をダウンロードし、必要事項を明記の上、FAX・メールにて
- 申込締切：7月20日(土)
- 主 催：NPO法人イー・エルダー東北支部
- 連 絡 先：TEL/FAX：022-796-8091  
E-mail：tohoku@e-elder.jp  
URL：http://www.e-elder.jp/tohoku/

**7/28 パソコンに関する無料相談室**

いまさら家族に聞けないパソコン操作方法を、やさしく・何回でも・繰り返しお答えします。

- 日 時：7月28日(日) 10:00～12:00
- 場 所：迫にぎわいセンター(登米市迫町佐沼字西佐沼70)
- 参加費：無料
- 申込方法：下記連絡先まで電話にて申込
- 申込締切：開催日の5日前まで
- 主 催：NPO法人パソコン・ネット・みやぎ
- 連 絡 先：〒987-0511 登米市迫町佐沼字西佐沼70  
迫町にぎわいセンター内  
TEL：0220-21-5262

**7/28 地域福祉セミナー お互い様の暮らし  
をめざして**

「最後までこの町で暮らしたい」「自分の家(うち)で暮らしたい」と願う人たちに寄り添うサービスの一つに「富山型デイサービス」というものがあります。赤ちゃんからお年寄りまで、障がいがあってもなくても誰もが一緒に身近な地域でデイサービスを受けられる場所、それが「富山型デイサービス」です。

- 日 時：7月28日(日) 10:20～12:00
- 場 所：大崎市三本木ふれあいホール  
(大崎市三本木字大豆坂24-3)
- 内 容：講演「お互い様の暮らしをめざして」(仮題)  
講師：阪井 由佳子氏(NPO法人デイケアハウスにぎやか 理事長)
- 定 員：100名(定員になり次第締切)
- 参加費：無料

- 参加費：無料
- 申込方法：不要。直接会場にお越しください
- 主催：東北HIVコミュニケーションズ(THC)
- 連絡先：〒983-0836 仙台市宮城野区幸町4-7-2  
みやぎいのちと人権リソースセンター内  
FAX：022-298-8532  
E-mail：thc00sasaeau-study@yahoo.co.jp  
URL：http://www16.plala.or.jp/thc/

- 対象：認知症高齢者・知的障害者等の親族  
20歳以上で、これらの人たちをサポートする意欲のある方
- 定員：50名
- 参加費：4,000円(テキスト代含)
- 申込方法：下記連絡先までお問い合わせください
- 主催：NPO法人童里夢、一般社団法人後見人サポート機構
- 連絡先：〒989-3212 仙台市青葉区芋沢字青野木520  
TEL：022-394-6150 FAX：022-394-6163

## 7/13 逃げ遅れる人々～東日本大震災と障害者～ 上映・討論会 in仙台

あの日から、私たちに何があったのかー  
マスメディアでは断片的しか取り上げられない、被災地の障害者の様々な現実に向きます。障害があるということは、災害時には普段以上にハンディとなるのです。

- 日時：7月13日(土)  
(1回目)14:00～(2回目)18:30～  
※上映時間74分
- 場所：エル・パーク仙台6F ギャラリーホール
- 討論会パネリスト：青田由幸氏(NPO法人さぼーとセンターびあ代表理事)  
八幡隆司氏(認定NPO法人ゆめ風基金理事)  
伊藤清市氏(NPO法人ゆにふりみやぎ理事長)  
及川智氏(被災地障がい者センターみやぎ代表)
- チケット：前売り800円、当日券1,000円
- 主催：被災地障がい者センターみやぎ
- 連絡先：TEL：022-746-8012

## 7/13 ～成年後見と福祉型民事信託の理解と活用～ セミナー受講者募集

成年後見は認知症高齢者、知的障害者、精神障害者など、判断能力の不十分な人々に対し、後見人などを選任して、人権や財産が侵害されることのないよう社会が支援する制度です。また、親の財産を子のために有効に活用する方法に福祉型民事信託があります。

- 日時：★第1回 7月13日(土)、7月14日(日)  
★第2回 7月20日(土)、7月21日(日)  
★第3回 8月31日(土)、9月1日(日)  
※全日程9:00～16:30 座学合計6日間・36時間
- 場所：東京エレクトロンホール宮城  
(仙台市青葉区国分町3-3-7)

## 7/15 親子のふれあい☆ハッピーヨガ

親子で楽しむココロとカラダのバランスアップ!家族みんなでカラダを動かそう!動いた後は「流しそうめん」でお腹もココロも大満足!中長期の休日を利用し、ヨガで体を動かすだけではなく、さまざまな体験を通して、子どもの健やかな成長とその最大のサポーターである両親を含む家族の健康を目指します。

- 日時：7月15日(月・祝) 10:00～13:00
- 場所：水の森キャンプ場
- 対象：小学生とそのご家族
- 定員：合計50名
- 参加費：大人1,000円(中学生以上)、小学生500円
- 主催：NPO法人日本YOGA連盟宮城仙台エリア
- 連絡先：E-mail：nyu.miyagisendai@gmail.com

## 7/15 心理社会的ケア 研修セミナー

被災地に暮らす子どもたちの心の整理を目指して、宮城県と岩手県の被災地を中心に開催するセミナーです。

- 日時：7月15日(月・祝) 13:00～16:00
- 場所：河北総合センター 視聴覚室  
(石巻市成田小塚裏畑54)  
※気仙沼市(9月)、名取市(2014年1月)でも開催予定  
※参加は1回限りとなります
- 対象：学校教職員、教育福祉関係者、子ども支援に関わる方々
- 定員：30名(申込先着順、定員になり次第締切)
- 参加費：2,000円(資機材費含)
- 申込方法：所定の申込書に記入の上、FAX、メールにて申込
- 主催：認定NPO法人地球のステージ、  
公益社団法人日本国際民間協力会(NICCO)
- 連絡先：認定NPO法人地球のステージ  
TEL：022-738-9221 FAX：022-383-8330  
E-mail：stageone@e-stageone.org

### 縦覧中

NPO法人の設立を新しく申請した団体		宮城県等所轄分5月11日～6月10日 仙台市所轄分5月11日～6月10日	
団体名	所在地	活動内容	受理日
宮城 FMあおぞら	巨理郡 巨理町	FM放送などのコミュニティメディアを活用し、地域の活力増進とコミュニティの活性化を図る活動	5/14
宮城 夢未来南三陸	本吉郡 南三陸町	南三陸町歌津地区を中心とした地域資源を活用した地域づくりに関する活動	5/17
宮城 南三陸コミュニティメディア	本吉郡 南三陸町	地域情報をインターネットや紙媒体により、地域住民及び全国へ発信・提供を行い、様々な活動主体のつなぎ役となる活動	5/27
仙台 彩り	泉区	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律(以下、「障害者総合支援法」という。)に基づく障害福祉サービス事業、障害者総合支援法に基づく一般相談支援事業及び特定相談支援事業、児童福祉法に基づく障害児通所支援事業等	5/30
仙台 仙台中田スポーツクラブ	太白区	青少年に対するスポーツスクール運営事業、スポーツ大会の運営、及び指導者の育成事業、スポーツ施設の管理運営の委託に関する事業等	6/10

NPO法人に認証された団体		宮城県等所轄分5月11日～6月10日 仙台市所轄分5月11日～6月10日	
団体名	所在地	活動内容	認証日
宮城 わ	名取市	障害福祉サービス事業所の運営	5/17
宮城 ざおう森の回廊	刈田郡 蔵王町	人材育成事業や自然環境の保護に関する事業を通じた、蔵王エリアを中心とする地域社会の活性化	5/20
宮城 あすわ	気仙沼市	エコツーリズムの促進及び防災啓発、環境保全などの事業を通じた気仙沼地域の振興	5/20
宮城 ウィメンズアイ	登米市	女性の社会参加の促進を通じた安心・安全な社会づくり	5/27
宮城 生命と環境保全	白石市	環境保全に関する人材育成事業及び環境保全に取り組む人々との交流事業等	5/28
仙台 仙台グリーフケア研究会	青葉区	グリーフケアの啓発および普及に関わる事業、グリーフケアを実践する事業、グリーフケアの概念の根本にある心のケアに関して、これを啓発及び普及する事業等	5/16
仙台 おりざの家	太白区	食育推進事業、家族支援事業	5/16
仙台 日本・ネパール文化交流倶楽部	宮城野区	国際交流・普及事業、国際支援事業	5/23
仙台 STELA	宮城野区	再生可能エネルギーの賦存量調査とその普及促進に関わる事業、環境保全の啓蒙に関わるセミナー及びイベント事業、風況調査事業等	5/27
仙台 カタパルト・D・センダイ	泉区	夢を持つ価値を伝える活動事業、夢実現のための支援事業、その他この法人の目的を達成するために必要な事業	5/30
仙台 みやぎ絆ネットワーク	青葉区	フットケア研修及び普及事業、褥瘡ケア研修及び普及事業、学習会及び講演会を開催する事業	6/6

宮城県の NPO法人数 **724** 団体  
宮城県等所轄：328団体  
仙台市所轄：396団体 ※2013年6月10日現在

※訪問は、経験豊かなスタッフ(精神保健福祉士、社会福祉士、保育士等)がお伺いします。

- 訪問相談の流れ：(1)電話・メール相談  
まずは、電話やメールなどでご相談ください
- (2)ご家族と面談  
ご本人の様子や状況などをお伺いし、どのようにアプローチしていくかなどを計画します
- (3)本人への訪問  
(2)でたてた計画をもとに、適当と思われるタイミング・方法でご本人を訪問し、面談いたします
- 訪問相談料：1回につき3,000円(交通費は別途必要)
- 実施団体：NPO法人まきばフリースクール
- 連絡先：〒987-2183 栗原市清水袖山62-18  
TEL：0228-25-4481  
携帯：090-3127-8925(中山)  
FAX：0228-25-4482  
E-mail：makibafree@mail.goo.ne.jp  
URL：http://www3.ocn.ne.jp/~mkb-free/  
※受付時間：月～金曜日 9:00～17:00

## ふくしまほっこりカフェ

私たちにはかり知れない不安と悲しみをもたらした3.11東日本大震災、原発事故の影響を受け、福島に思いを寄せながら暮らしているあなたのための週1回のほっこり時間。放射能、子育て、食べ物、仕事、仙台のこと… お茶やお菓子を囲んで手を動かしながらお喋りしませんか？

- 日時：毎週火曜日 10:00～12:00
- 場所：ハート&アート空間 ビーアイ  
(仙台市青葉区立町20-11 ミカミハウス2F)
- 対象：福島から避難されている方、福島に思いを寄せている方
- 参加費：無料(毎月4週目の「みんなで作ってほっこり食堂」は500円)
- 申込方法：TEL、FAX、メールにて申込  
※お子さんの人数や年齢もお知らせください
- 申込締切：開催日の前日まで
- 主催：ふくしまほっこりカフェ実行委員会
- 連絡先：〒980-0822 仙台市青葉区立町20-11  
ミカミハウス2F ハート&アート空間 ビーアイ内  
TEL：022-262-2969 FAX：022-262-2975  
E-mail：zoukabako@gold.ocn.ne.jp  
URL：http://ameblo.jp/fukushima-hokkoricafe/

## イベント

### 7/10 PASOMAMA祭り

パソコンママネットもおかげさまで10年を迎えることができました。10年を記念しPASOMAMA祭りとし、多くの方々に活動を知っていただくためにイベントを行います。

- 日時：7月10日(水) 9:00～12:00
- 場所：石巻市中央公民館3階
- 内容：【ブース1】タブレットサロン  
【ブース2】パソコンなんでも相談会  
【ブース3】オリジナルエコバッグ作り体験  
※要予約、参加費500円(材料代)  
※データ持込可。データはCDかUSBフラッシュメモリーなどに入れてお持ちください  
【ブース4】石巻市災害情報メール登録会  
【ブース5】展示ブース  
パソコンママネット会員のみなさまの作品を展示いたします。  
※記載のないものは予約不要、参加費無料  
※ブース1・ブース3は1回目10:00～11:00、2回目11:00～12:00に分かれ、各回定員5名
- 主催：NPO法人パソコンママネット
- 連絡先：TEL：0225-23-0822  
E-mail：npo@pasomama.com  
URL：http://pasomama.com/

### 7/13 HIV・性的自立・セクシュアリティ…支え合う学習会 season1 第3回「聴こえてくる声・聴こえない声～電話相談報告」

東北HIVコミュニケーションズは、今年で設立20周年を迎えます。この20年間に培ってきた人権感覚、様々な社会の問題に対する現場感覚、そして人的なネットワークがあります。この資源を定例の学習会で市民のみなさんと共有し、さらに現代的につながり合える、そうした場にしていけたらと思います。

- 日時：7月13日(土) 14:30～16:30  
※毎月第2土曜日に開催(8月はお休み)
- 場所：コミュニティセンター ZEL  
(仙台市青葉区国分町3-3-5 リスズビル9階)

## かほく「108」クラブ通信 河北新報社

河北新報は1897年(明治30年)1月17日に誕生しました。「東北振興」を掲げた創刊の精神は、今も脈々と受け継がれています。

題号は、明治維新後に「白河以北一山百文」と蔑まれたことに反発、東北復権の願いを込めて名付けられました。仙台市に本社を置き、東北6県37か所に取材網を展開。東日本大震災以後、被災地の声を広く全国、世界に発信し続けています。

河北新報社は、河北文化賞や河北4大公募展(美術・書道・工芸・写真)などを通じて東北地方の文化・学術・スポーツの向上に貢献する一方、かほく「108」クラブによる社会貢献活動にも積極的に取り組んでいます。



▲河北新報本社

※相談の上、いずれかの地区(拠点)をご担当いただきます

※社会教育施設、提携先であるみやぎ生協内集会所のいずれかが拠点となります

- 応募資格：・18歳以上
  - ・Eメールやインターネットを日常的に使っている方
  - ・子どもの貧困問題や教育に対して関心のある方
  - ・子どもとのコミュニケーション(信頼関係づくり、傾聴、承認)ができる方
- ※必須ではありませんが、教育や福祉に関する資格・経験をお持ちの方を歓迎します
- ※移動手段(車・原付等)をお持ちの方を歓迎します
- ※大学生でも応募可能ですが、長期休み期間中も責任をもって継続的に活動できることが条件となります
- 待遇：・時給1,000円
  - ※1拠点(週2日活動)をご担当いただいた場合、24,000円程度になります
  - ・交通費全額実費支給
  - ・労災保険
- 申込方法：事前に電話またはメールで連絡の上、履歴書を郵送してください(学習コーディネーターの件と明記の上ご応募ください)
- 募集主体：NPO法人アスイク
- 連絡先：〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡5-3-21-101  
TEL：022-781-5576 FAX：022-781-5576  
E-mail：info@asuiku.org  
URL：http://asuiku.org(担当：佐々木)

な主体が関わった協働事業も可)

- ★応募の時点で継続中および事業終了後1年以内のもの
- ★自薦または第三者による推薦(ただし、どちらもNPOおよび企業の双方の了解が得られていること)
- ★協働事業ごとの応募となるため、複数の協働事業をそれぞれ応募することも可能。事業所単位の応募も可
- ★過去の「パートナーシップ大賞」入賞事業を除く
- ※応募事業については事例集として作成する刊行物等に協働事業名、NPO名、企業名等を掲載させていただきます。

- 各賞：★日本パートナーシップ大賞グランプリ
  - ・NPO：記念盾、副賞(30万円)
  - ・企業：記念盾
- ★日本パートナーシップ賞5事業
  - ・NPO：記念盾、副賞(10万円)
  - ・企業：記念盾
- ★優秀賞3事業
  - ・NPO：副賞5万円
- ★その他 特別賞など
- 選考：本法人による「パートナーシップ評価」等に基づき第1次審査(書類)、現地調査、第2次審査を経て、最終審査(プレゼンテーション)により決定
- 申込方法：下記連絡先内のURLより応募用紙をダウンロードし、必要事項を記入の上、下記連絡先まで申込
- 申込締切：7月31日(水) 18:00必着
- 主催：NPO法人パートナーシップ・サポートセンター(PSC)
- 連絡先：「第10回日本パートナーシップ大賞」募集係  
〒464-0067 愛知県名古屋千種区池下1-11-21 サンコート池下4F  
TEL：052-762-0401 FAX：052-762-0407  
E-mail：info@psc.or.jp  
URL：http://www.psc.or.jp

## お知らせ

### 第10回 日本パートナーシップ大賞

社会にインパクトを与えた特色ある協働事業を表彰します。企業との協働に取組み、地域や社会を動かしている全国のNPOや、CSRの一環としてNPOとの協働を推進している企業の皆さん、ぜひご応募ください。

- 募集期間：6月1日(土)～7月31日(水) 18:00必着
- 応募条件：★日本に所在するNPO(法人格の有無不問)と企業の協働事業(これら協働に行政、大学等多様

## 事業案内

### 不登校・引きこもりなどの訪問相談

※ご本人への訪問実施へつながるまでの間や訪問実施中も、ご家族へのフォローは継続して行います。



## ありがとうございます!!

今月の新入会員・継続会員 (2013.6.16現在)敬称略



●正会員 50名

- ★石巻市 ●NPO法人いしのまきNPOセンター
- ★大河原町 ●NPO法人ほっとあい
- ★栗原市 ●NPO法人みやぎ身体障害者サポートクラブ
- ★仙台市 ●(一財)愛知揆一福祉振興会 ●(株)小松印刷 仙台支店
- NPO法人シニアのための市民ネットワーク仙台
- (社福)東北福祉会 ●遠山青葉印刷(株)
- NPO法人20世紀アーカイブ仙台 ●佐藤わか子
- NPO法人 FOR YOU にこにこの家 ●庄司真希
- 沼田仁 ●藤田佐和子 ●堀川晴代 ●吉田昭雄
- ★京都府 ●新川達郎

●賛助会員 81名

- ★石巻市 ●NPO法人輝くなかまチャレンジ
- ★岩沼市 ●NPO法人ホームひなたぼっこ
- ★仙台市 ●大國神社の山野草を守る会 ●NPO法人おひさまくらぶ
- NPO法人オリーブの木 ●NPO法人シャロームの会
- フラワーセラピー研究会 仙台地区 ●共育を考える会
- NPO法人全国コミュニティライフサポートセンター
- NPO法人NALC宮城 ●NPO法人ゆうあんどあい
- 阿部幸一 ●安部光代 ●有坂紀美江 ●大西康美
- 佐藤理絵 ●白川由利枝 ●武山広美 ●田村雪子
- 中村祥子 ●堀川晴代 ●平野卓也 (有)平野印刷所 ●渡辺清
- NPO法人イー・エルダー東北支部
- NPO法人創る村
- ★名取市 ●NPO法人生活リハビリクラブきらら
- ★東松島市 ●青柳誠孜
- ★利府町
- ★北海道

寄付・協賛を頂いた方々 (2013.4.16～2013.6.16)敬称略

★仙台市 ●安部光代 ●大國神社の山野草を守る会 ●武山広美

### 会員募集

社の伝言板ゆるるは、地域の課題を解決するために活動するNPOの継続的運営や、それに参加するボランティアの育成を支援している団体です。特に1997年に創刊した月刊社の伝言板ゆるるは市民活動やボランティアをしたい市民、それを応援したい企業、行政、そしてNPOをつなぐ情報誌として広く活用されています。これからもNPOや参加する市民にとって役立つ情報を発信し、地域の生活環境が向上するように活動していきますので、ぜひ、私たちの会員となって応援してください!!

会員種別	年会費
正会員個人・NPO	10,000円
正会員法人	20,000円
賛助会員個人	3,000円
賛助会員NPO	5,000円
賛助会員企業・団体	20,000円

■会員には毎月「月刊社の伝言板ゆるる」が届きます。  
※正会員以外は、総会での議決権がありません。

**郵便振替口座**

口座番号 **02250-0-43800**

加入者名 **特定非営利活動法人 社の伝言板ゆるる**

(会員申込の方は、通信欄に会員の種類をご記入ください。)

# information

6月15日までにゆるる編集部へ届いた情報です。  
詳細は各情報の連絡先にお問い合わせください。

## ボランティア情報

〒981-8691 日本郵便(株)仙台北郵便局私書箱26号  
TEL : 022-718-4401  
URL : <http://www6.ocn.ne.jp/~sen/>

### 2013 キッズベースサマーキャンプ

アフタースクール：キッズベースでは、毎年夏休みに“サマーキャンプ”を開催しています。今年は“蔵王自然の家”に宿泊し、川遊びや登山など、子どもたちに、2日間たっぷり自然に親しんでもらおうと思っています。スタッフの一員としてイベントに参加していただけるボランティアの方を募集しています。

- 日 時：7月26日(金)8:00～7月27日(土)16:00
- 場 所：宮城県蔵王自然の家とその周辺  
(刈田郡蔵王町遠刈田温泉字上ノ原155-1)
- 内 容：(1)トレッキング  
(2)川遊び  
(3)キャンプファイヤー  
※雨天の時は室内で、ゲームなどを行います
- 募集人員：10人程度
- 報 酬：昼・夜・朝・昼の4食、謝金支給予定
- 託 児：小学生のお子様と一緒にイベントに参加可能
- 申込方法：下記連絡先までお問い合わせください
- 主 催：NPO法人働くお母さんと子供を支援する会
- 連 絡 先：(担当：石森)  
〒981-3135 仙台市青葉区北根黒松2-10  
クローバーズ・ピアワッセ 2階  
TEL : 022-346-0130 FAX : 022-346-0156  
E-mail : [talisman@kidsbase.jp](mailto:talisman@kidsbase.jp)  
URL : <http://kidsbase.jp/>

### 2013年度 第40期 仙台的のちの電話相談員養成講座

あなたも電話相談員として活動しませんか。「仙台的のちの電話」は1982年開設、現在200名のボランティアが交代で365日24時間、休むことなく様々な悩みや訴えを聴いています。

- 募集資格：①23歳以上おおむね63歳までで心身ともに健康、「いのちの電話」の趣旨に賛同し、その活動に積極的に参加される方  
②相談員として認定後、月2回(1回3時間)、「いのちの電話センター(仙台・石巻)」でボランティア電話相談員として活動できる方  
③認定後も継続して所定の研修を受けることができる方
- 応募方法：以下の必要書類を下記連絡先までお送りください(HPから直接送信も可)  
①申込書、②「いのちの電話」に参加する動機(A4横書き800字程度)、③自分史(A4横書き2000字程度)
- 定 員：30名(仙台20名、石巻10名)
- 研修費用：45,000円
- 申込締切：7月31日(水)消印有効
- 審査・面接：8月28日(水)・29日(木) (仙台)  
8月31日(土) (石巻)
- 主 催：社会福祉法人仙台的のちの電話
- 申込・連絡先：社会福祉法人仙台的のちの電話事務局

### 南三陸町での見守り・配食ボランティア募集

9月末にかけ、南三陸町歌津地区における見守り・配食サービスを行います。「毎日ごはんを作るのが大変」という高齢者や一人暮らしのお宅に、おいしい家庭の味をお届けする配達ボランティアやお弁当作りボランティアをやってみませんか？

- 日 時：2013年9月末まで
- 場 所：南三陸町歌津地区
- 内 容：①お弁当の配達と見守り  
②お弁当制作(南三陸直売所みなさん館にて)
- 募集人数：20名程度
- 参加費：無料(活動にかかるガソリン代等の費用は本会が負担します)
- 条 件：【短期】3日以上、【長期】週1回程度できる方
- 申込方法：HPから、もしくは下記連絡先までTEL
- 申込締切：9月下旬
- 主 催：NPO法人故郷まちづくりナイン・タウン
- 連絡先：TEL/FAX : 0220-44-4301(火～土の9時～18時)  
E-mail : [info@nine-town.org](mailto:info@nine-town.org)  
URL : <http://nine-town.org>  
担当：太田・鈴木

## 有給スタッフ

### 学習支援スタッフ(非常勤)

お金の問題によって放課後の教育機会や人とのつながりが限られている中学生に対して、学びの場のコーディネーター業務をしてくれる方を募集します。勉強が教えられなくても、子どもとの関わりや教育に関心がある方をお待ちしています。

#### ★こんな方にピッタリのお仕事です

- ・将来、教師や福祉関係の仕事を目指している大学生
- ・コーチングやカウンセリングの勉強をしている社会人
- ・企業で人事、教育に携わった経験がある定年退職後、間もない方
- ・将来自分で子どもを支えるNPOを立ち上げたいと考えている方 etc.
- 活動内容：自身が担当する拠点にて、eラーニングを活用して中学生の学習をサポート  
活動をサポートしてくれるボランティアのマネジメント  
その他、事業運営に必要な事務作業
- 勤務時間：週2～4日(平日) 18:00～21:00  
※上記は原則となるため、個別に調整させていただきます  
ただることがあります
- 勤務地：太白区内(四郎丸地区、富沢地区、八木山地区、西多賀地区、茂庭台地区、西中田地区)

みんなで守ろう！日本の希少生物種と自然環境

SAVE JAPAN プロジェクト 2013

参加費  
無料

定員50名(先着順)

干潟の小さな  
生き物たちに  
会いに行こう！

～蒲生干潟 生き物観察会～

8月4日(日) 8:00～12:30

対象：①県内の親子(乳幼児は不可) ②自然や生き物に興味のある一般市民  
申込締切：7月24日(水)

かつて「生命の宝庫」といわれた蒲生干潟は、大地震と大津波の直撃で壊滅的なダメージを受けました。しかし、砂浜や干潟の地形は驚くほどの速さで復活し、生態系も回復の兆しを見せています。「アカテガニ」、「フトヘナタリ」、「ハマコツナ」といった絶滅の危機に瀕する貴重な生き物もいくつか見られるはず。生き物調査から、その息吹を感じてみませんか。泥の中の小さな生き物たちの暮らしをそっとのぞいてみよう！

共催：蒲生を守る会、NPO法人杜の伝言板ゆるる、  
認定 NPO法人 日本NPOセンター  
協賛：損保ジャパン 日本興亜損保  
後援：仙台市(申請中)、仙台市教育委員会(申請中)



問合せ・申込先：NPO 法人杜の伝言板ゆるる

講演会

『楽しい寄付の集め方

～京都における成功事例より～』

開催!

NPOにとって寄付は重要な財源。とはいえ、現実にはなかなかそう簡単に集まるものではありません。今回の講演会では、飲食店とのタイアップによる「カンパイチャリティ」などユニークな手法で寄付集めを実践している公益財団法人京都地域創造基金から深尾昌峰理事長を招き、楽しみながらできる寄付集めのコツを聞いていきます！

上手く寄付を集めて財政難を打破しようとお考えの方には必見必聴の内容です！

日時 7月20日(土) 15:00-16:30

会場 みやぎNPOプラザ 交流サロン

参加費 無料



●講師：深尾昌峰氏

(公益財団法人京都地域創造基金理事長)

●講師プロフィール

1974年生まれ。1998年、きょうとNPOセンターの事務局長に就任。2009年、公益財団法人京都地域創造基金の理事長に就任。市民による公益活動の総合的な支援を展開している。現在はNPO法人きょうとNPOセンター常務理事、龍谷大学政策学部准教授、株式会社PLUS SOCIAL代表取締役などを兼任。

共催：宮城県(みやぎNPOプラザ) NPO法人杜の伝言板ゆるる

連絡先：NPO法人杜の伝言板ゆるる